

事業活動（通常総会）報告書－ 1

1	活動名称	令和4年度 第14回通常総会 ※メール配信 会員110名（委任状含む）
2	実施日時・場所	令和4年4月5日（火） メール配信
3	担当幹事	事務局
4-1	実施内容・名称	「令和4年度 第14回総会」の議案について ・第1号議案 令和3年度 事業報告 ・第2号議案 令和3年度 事業決算書 ・第3号議案 令和4年度 事業計画（案） ・第4号議案 令和4年度 事業予算書（案）
4-2	総会の概要	メールによる議案承認 ・承認：返信がない方は、議案承認 ・未承認：事務局まで「未承認」と「その理由」に関してメールを返信 ※返信期限：4月19日（火）
4-3	対応	北海道コンクリート診断士会 会長、副会長、幹事、監査役、事務局

事業活動（研修会・講習会等）実施報告書－2

5 実施状況	<p style="text-align: center;">【北海道コンクリート診断士会】 「令和4年度 通常総会および講演会」の会場開催中止について</p> <p>Subject: 【北海道コンクリート診断士会】 「令和4年度 通常総会および講演会」の会場開催中止について From: 北海道コンクリート診断士会事務局 <secretariat@hcd-net.jp> Date: 2022/04/05 11:06 To: undisclosed-recipients; ; BCC: 正会員 <seikaiin@hcd-net.jp>, 賛助会員・個人 <sanjokojin@hcd-net.jp>, 賛助会員・法人 <sanjohoujin@hcd-net.jp></p> <p>北海道コンクリート診断士会 会員各位</p> <p style="text-align: right;">令和4年4月5日 北海道コンクリート診断士会 事務局</p> <p style="text-align: center;">「令和4年度 通常総会および講演会」の会場開催中止について</p> <p>1.会場開催中止について 北海道における「新型コロナウイルス」の感染状況ですが、「蔓延防止処置」は解除されましたが依然、高い数値で継続している現状を踏まえ「北海道コンクリート診断士会」におきましても今年度の事業実施に関しまして検討してまいりました。 例年、4月下旬に開催を予定しております当会の「通常総会および講演会」についてですが、現状、会員の皆様の安全を最優先に確保するためには、この時期に多数の方が集合する状況は極力、回避することが重要と考えております。 つきまして、「令和4年度 通常総会および講演会」の会場における開催を中止させていただきます。</p> <p>2.メールによる議案承認 総会における「第1号議案～第4号議案」について承認をお願いいたします。議案および承認方法は、以下の通りです。</p> <p>①「令和4年度 第14回総会」の議案について ・第1号議案 令和3年度 事業報告 ・第2号議案 令和3年度 事業決算書 ・第3号議案 令和4年度 事業計画（案） ・第4号議案 令和4年度 事業予算書（案）</p> <p>②総会資料について ※当会HPのパナー【情報交換】にアップしています。 ●閲覧PW：HCD220307（半角）</p> <p>・未承認：承認されない場合は、お手数ですが事務局まで「未承認」と「その理由」に関してメールを返信願います。 ※返信期限：4月19日（火）</p> <p>・承認：返信がない方は、ご承認いただいたとさせていただきます。</p> <p>以上、宜しくお願いいたします。</p> <p>-- --</p> <p>----- 北海道コンクリート診断士会 事務局長 大内 義仁 (Ouchi Yoshihito)</p> <p>E-mail:secretariat@hcd-net.jp URL http://www.hcd-net.jp TEL : 090-8279-1783 〒065-0016 札幌市東区北16条東19丁目1-14 日本データサービス株式会社 設計診断部内 -----</p> <p>1 / 1</p> <p style="text-align: right;">2023/03/08 9:11</p> <p>送信メール（2022年4月5日送信）</p>
--------	---

事業活動（講演会）報告書－ 1

1	活動名称	令和4年度 講演会 ※参加者：35名
2	実施日時	令和4年4月25日（月） 13時30分～15時00分（90分）（オンライン方式）
3	担当幹事	事務局
4-1	実施内容・名称-1	「疲労とRC床版と繊維補強複合材料」
4-2	講義の概要	<p>○より良い構造物の設計のために 北海道における構造物設計研究小委員会の活動紹介 （北海道土木技術会コンクリート研究委員会）</p> <p>○鋼コンクリート複合構造物とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複合構造とは ・複合構造発展の歴史 ・コンクリート構造物の補修・補強と複合構造物の関係 ・構造物の例 ・複合構造のメリット ・北海道内の特徴的な複合構造の事例 ・複合構造物の維持管理 ・複合構造物の設計上の課題 <p>○研究紹介 スタッドを用いた鋼板コンクリート合成版の研究紹介</p> <p>○おわりに</p>
4-3	講師（氏名・所属会社名）	北海道大学大学院工学研究院 土木工学部門 社会基盤マネジメント分野 教授 松本 高志 氏

事業動（講演会）実施報告書－2

5 実施状況写真

北海道コンクリート診断士会 令和4年度 講演会

疲労とRC床版と繊維補強複合材料

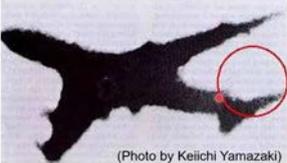
北海道大学 松本 高志

HOKKAIDO UNIVERSITY 北海道大学 構造デザイン工学研究室 1

This slide is the title page of a presentation. It features a white background with a green wave graphic at the top. The text is centered and includes the event name, title, speaker's name, and university affiliation. A small video feed of the speaker is visible in the top right corner, and a vertical column of icons representing other participants is on the right side.

疲労による事故の歴史

- 航空機墜落: コメット(1950年代, 英国), 日本航空123便(1985, 日本)
- 落橋: シルバー橋(1967, 米国)



(Photo by Keiichi Yamazaki)

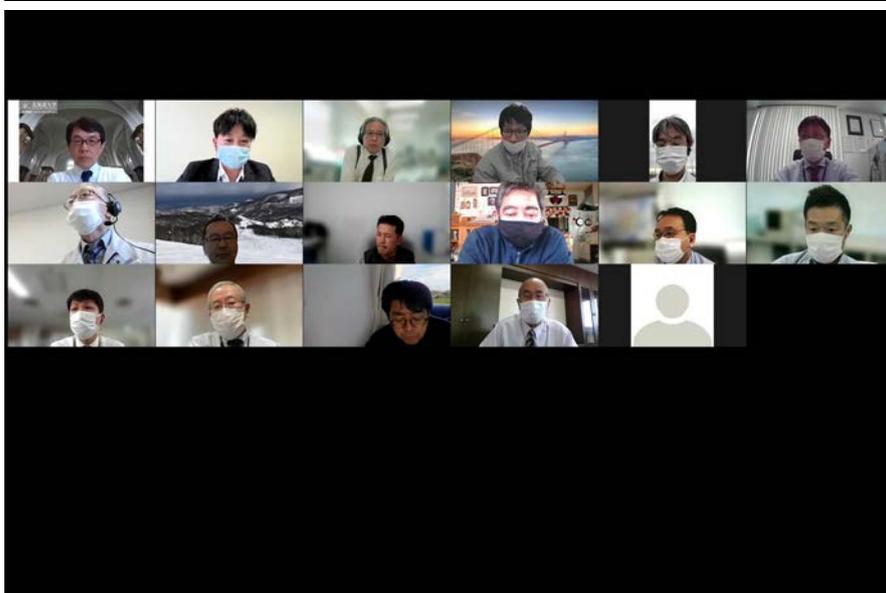


(w/metronews.com)

- 突然で破局的な事故
- メカニズムは明らかにされているが、今なお繰り返される。

HOKKAIDO UNIVERSITY 北海道大学 構造デザイン工学研究室 6

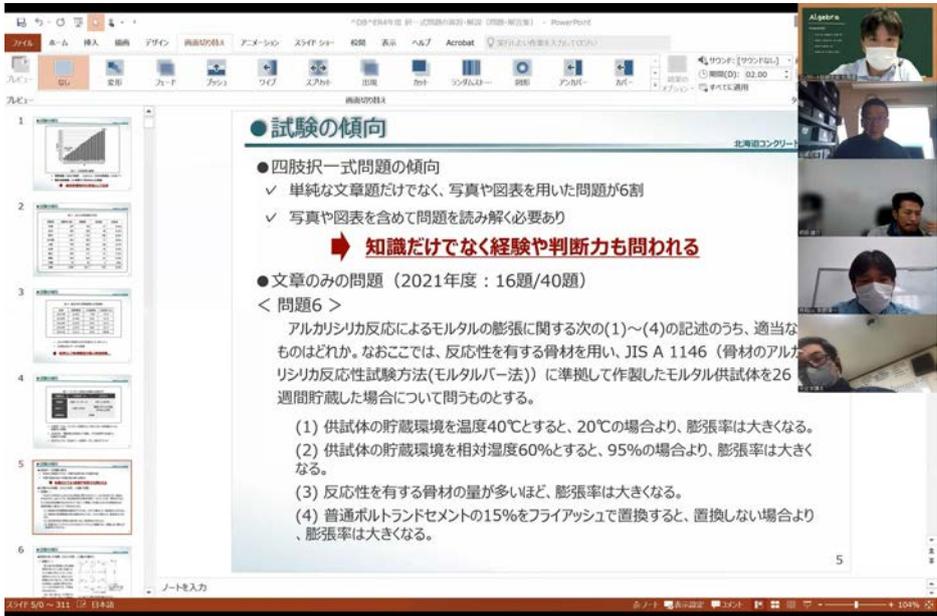
This slide discusses historical accidents caused by fatigue. It lists two main categories: aircraft crashes (Comet in the 1950s and JAL 123 in 1985) and bridge collapses (Silver Bridge in 1967). It includes photographs of the wreckage and the bridge. The text notes that these accidents are sudden and catastrophic, and that although the mechanisms are understood, they continue to recur. The slide also features a video feed and participant icons on the right.



事業活動（研修会・講習会等）報告書－ 1

1	活動名称	令和 4 年度 普及講習会 ※参加者：18 名
2	実施日時	令和 4 年 5 月 31 日（火） 9 時 30 分～11 時 30 分（120 分）（オンライン方式）
3	担当幹事	事務局
4-1	実施内容・名称	(1) 9:30～9:35 はじめに (2) 10:05～12:00 「コンクリート診断士試験における過去問題（択一）の解説他」
4-2	講義の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート診断技術（試験の傾向） ・択一式問題（2020 年度および過去の類似問題）の解答・解説
4-3	講師（氏名・所属会社名）	<ul style="list-style-type: none"> ・日本データサービス(株) 設計診断部部長 木村 博史 氏

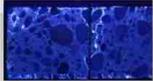
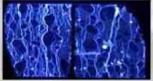
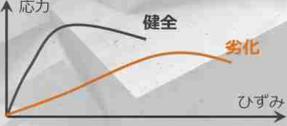
事業活動（研修会・講習会等）実施報告書－2

5-1	実施状況写真	
<p>「コンクリート 診断技術と診断 士試験過去問題 の解答・解説」</p>		 <p>試験の傾向</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 四択択一式問題の傾向 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 単純な文章題だけでなく、写真や図表を用いた問題が6割 ✓ 写真や図表を含めて問題を読み解く必要あり ➡ 知識だけでなく経験や判断力も問われる ● 文章のみの問題（2021年度：16題/40題） <p>< 問題6 ></p> <p>アルカリシリカ反応によるモルタルの膨張に関する次の(1)～(4)の記述のうち、適当なものはどれか。なおここでは、反応性を有する骨材を用い、JIS A 1146（骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)）に準拠して作製したモルタル供試体を26週間貯蔵した場合について問うものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 供試体の貯蔵環境を温度40℃とすると、20℃の場合より、膨張率は大きくなる。 (2) 供試体の貯蔵環境を相対湿度60%とすると、95%の場合より、膨張率は大きくなる。 (3) 反応性を有する骨材の量が多いほど、膨張率は大きくなる。 (4) 普通ポルトランドセメントの15%をフライアッシュで置換すると、置換しない場合より、膨張率は大きくなる。

事業活動（研修会・講習会等）報告書

1	活動名称	令和4年度 第1回コンクリート診断技術研修会 ※参加者:27名
2	実施日時	令和4年8月1日（木） 13時30分～15時00分（90分）（オンライン方式）
3	担当幹事	事務局
4-1	実施内容・名称	(1) 13:30～13:35 はじめに (2) 13:35～15:00「凍害を受けた既設構造物に対する力学性能評価:解析モデルから実構造物への適用まで」
4-2	講義の概要	(1) 話題提供の背景 (2) 凍害の診断 (3) 力学的合理性のある健全度評価を可能にするモデル (4) 実構造物の解析例 (5) 維持管理の連続性を指向した性能評価法 (6) まとめ
4-3	講師（氏名・所属会社名）	・北海学園大学工学部 社会環境工学科 准教授 金澤 健 氏

事業活動（研修会・講習会等）実施報告書－2

5-1	実施状況写真	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「凍害を受けた既設構造物に対する力学性能評価：解析モデルから実構造物への適用まで」</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <h3 style="margin: 0;">凍害を受けた既設構造物に対する力学性能評価： 解析モデルから実構造物への適用まで</h3> <p style="margin: 5px 0 0 0;">金澤健 北海道大学工学部 社会環境工学科 E-mail: t-kanazawa@hgu.jp</p> <p style="font-size: small; margin: 5px 0 0 0;">北海道コンクリート診断士会 令和4年度 コンクリート技術研修会 2022/08/01 オンライン開催</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <h3 style="margin: 0;">凍害の診断 (1)</h3> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="margin: 0;">実構造物からコアを採取</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 蛍光含浸剤等でひび割れの入り方を観察 (a) ● 気泡間隔係数（空気量）を測定 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>(a) 健全</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(a) 劣化</p>  </div> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>(b) 応力</p>  <p style="text-align: right;">ひずみ</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 圧縮強度/静弾性係数を測定 (b) ● 相対動弾性係数を測定 <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">耐力（安全性）に関する対策の要否の判断</p> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">北海道コンクリート診断士会 令和4年度 コンクリート技術研修会 2022/08/01 オンライン開催</p> </div>
-----	--------	---